

安
安心・安全

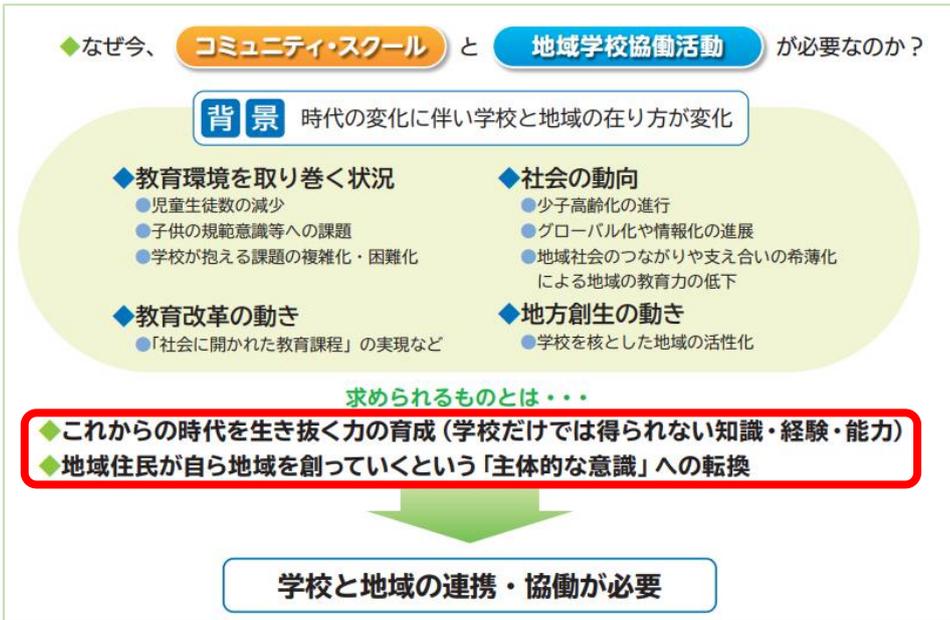
学
深い学び

健
心と体の健康

2022
9

作成：士幌町教育委員会

これからの時代を生き抜く力の育成



左図は「これからの地域と学校～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～」(文部科学省)からの抜粋です。

赤枠内の“目指すもの”を学校と地域が共有しながら、士幌町でも一步一步活動が進められています。

今月号では中士幌小学校、上居辺小学校、認定こども園での実践を紹介します。

校外学習～地域人材・素材の活用で学びの充実～

中士幌小学校

【美濃の家・伝統農業保存伝承館見学(学校外の人材・素材活用)】



学校外の人材・素材を活用した学習を行いました。「わたしたちのまち みんなのまち」(3年)、「住みよいくらしをつくる」(4年)(社会科)の学習のため、訪問しました。伝承館では、昔の農耕具や家財具、遊び道具などを見学しました。

美濃の家では、入植した岐阜県美濃市の伝統的な家づくりを見学しました。6年生での美濃市との交流事業へ向けた、学びのステージの大事な一コマになりました。

【アスポ見学(学校外の人材・素材活用)】

「わたしたちのまち みんなのまち」(社会科)の学習のため、J A士幌(A S P O)を訪問しました。店長から説明を受けてから店内を見学しました。児童は、熱心にお話を聞き、店内見学では、タブレットを活用し、写真に取めたり(お店の許可を得て)、メモをしたりして、まとめの学習の参考になるよう記録していました。



地域総がかりで子どもたちを育む

地域力で学校力向上～上居辺小の地域学校協働活動～ 上居辺小学校



【街頭指導での見守り活動】

【公民館との連携による子供達の見守り活動】

上居辺小学校では、上居辺地区公民館運営推進委員会と連携して、子供達の登下校の見守り活動を実施しています。年度当初に交通安全街頭指導を協働で実施しているほか、公民館の会議では、折に触れ子供達の安全確保について話題にいただいています。そのおかげで、日常的に地域の皆さんが、農作業中などにも子供達を見守ってくれています。

【上居辺スポーツ少年団との連携による新体力テストの実施】

上居辺小学校では、年間2回、新体力テストを実施しています。上居辺スポーツ少年団指導者の皆さんに測定の協力をいただくことで、短時間での実施が可能となり、多くの時間を割くことなく、年間2回、新体力テストができるようになりました。

よりきめ細やかに子供達の体力・運動能力を把握できるようになり、子供達の体力向上にとっても役立っています。



【新体力テストで運営協力】

「ほんもの」が一番いい！！

認定こども園



【ほんもの消防士さん】

こども園では月に1回の避難訓練を行っています。火災のサイレンと地震のベルとの聞き分け、避難方法の違い、「おはしも」の徹底など、各月テーマをもって継続的に実施しています。そして年1回、士幌消防署の協力で消防自動車と救急車が通報により駆け付け、実際の消火作業の様子を見せてくれます。みんなの命を守る仕事の様子を目の当たりにして、子どもたちの意識は確実に高まるのでした。

また、日本郵便の「お手紙ごっこ遊び」支援キットを活用して、年長児クラスがお手紙ごっこ遊びを実施しました。ここでは、士幌郵便局の局員2名が来園くださり、郵便の仕事の説明や園児の「お手紙ごっこ」をサポートしてくれました。「手紙を書く楽しみや手紙を受け取った時の喜びを経験する」という目的達成に、「ほんもの」の方々が関わってくれるおかげで、手紙文化が自分事として園児たちには伝わりました。



【ほんもの郵便屋さん】

◆今回は2つの小学校とこども園の実践を紹介しました。「学校だけでは得られない知識・経験・能力」が、こうして育まれていくのですね。◆時代は“バーチャル”全盛ですが、なんとといっても“ほんもの”体験が大事です。ことさら幼児期、学童期は五感をフルに働かせて“ほんもの”と触れることが育ちのエネルギーとなっていきます。◆コロナ禍の中、関係する皆様のご協力でこうした価値ある活動が進められていること、大変うれしく思います。◆残り3校の実践は、11月号で報告します。お楽しみに。(渋谷)